

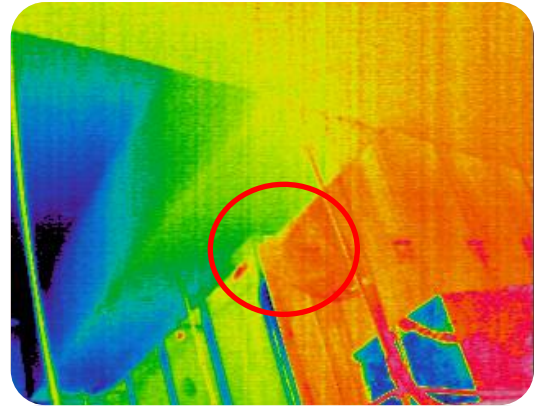
実態調査事例⑦建物診断(ITDI)について

◆雨漏り！劣化！赤外線サーモ！屋根！愛知県◆

建物診断(ITDI)における調査事例をご紹介します。

RC造の建物のため、赤外線サーモグラフィーだけでは、雨漏り診断は難しいため、総合的な手法を用い、漏水箇所を特定しました。

①漏水箇所の赤外線サーモグラフィー撮影

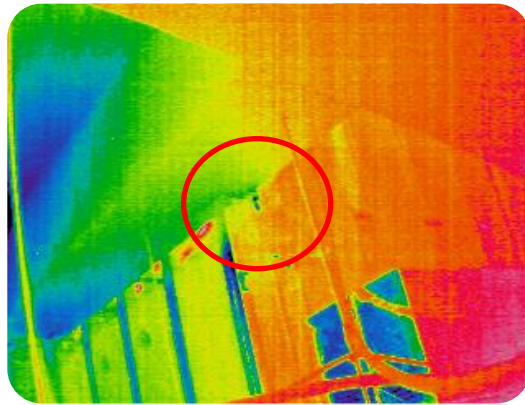


漏水による温度異常分布は見られません。

②様々な検討により、漏水箇所を想定しました。

③想定箇所へ撒水を実施

④漏水箇所を再度、赤外線サーモグラフィー撮影



○の部分が漏水箇所です。

①の時点では、温度異常分布は見られませんでした。

④で再度、撮影して、解析してみると○内で青色になっている部分を確認できました。想定箇所へ撒水することにより、漏水箇所にはっきりと漏水したことが確認できました。



今回の不具合箇所は、この写真のように大きなクラックからの漏水でした。

⑤想定箇所が漏水の原因であることがわかりましたので、ピンポイントで不具合箇所を指摘し、お施主さまにとっても最短の時間と労力で修繕につなげることができました。

お問い合わせ先
⇒株式会社神清

<http://www.kamisei.co.jp>

MAIL:info@kamisei.co.jp

TEL:0569-22-4711

担当:盛田(もりた)